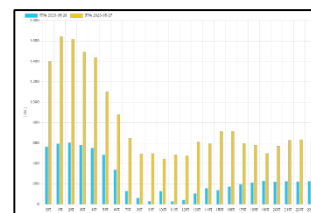


ものづくりの現場で生まれた
エネルギー効率化をサポートするDXツール

エネグラフ

安価なエッジデバイスを既存のメータに取り付けるだけ



2025.2.14

太平洋工業株式会社 新規事業推進部 営業企画グループ 安田 宗近

目次

1. 会社概要
 2. 経緯
 3. エネグラフ 製品説明
 4. 導入事例
 5. 今後の展開
-

目次

1. 会社概要

2. 経緯

3. エネグラフ 製品説明

4. 導入事例

5. 今後の展開

1.会社概要

本社所在地	岐阜県大垣市久徳町100番地
創業	1930年（昭和5年）8月8日
代表者	代表取締役社長 小川哲史
資本金	73億1600万円
株式	東証プライム・名証プレミアム市場
事業内容	自動車部品、電子機器製品等の 開発・製造ならびに販売
従業員数	4,960人
WEBサイト	https://www.pacific-ind.co.jp/



自動車向けをメインに、プレス・樹脂製品事業、バルブ製品事業を柱として展開

プレス・樹脂製品事業

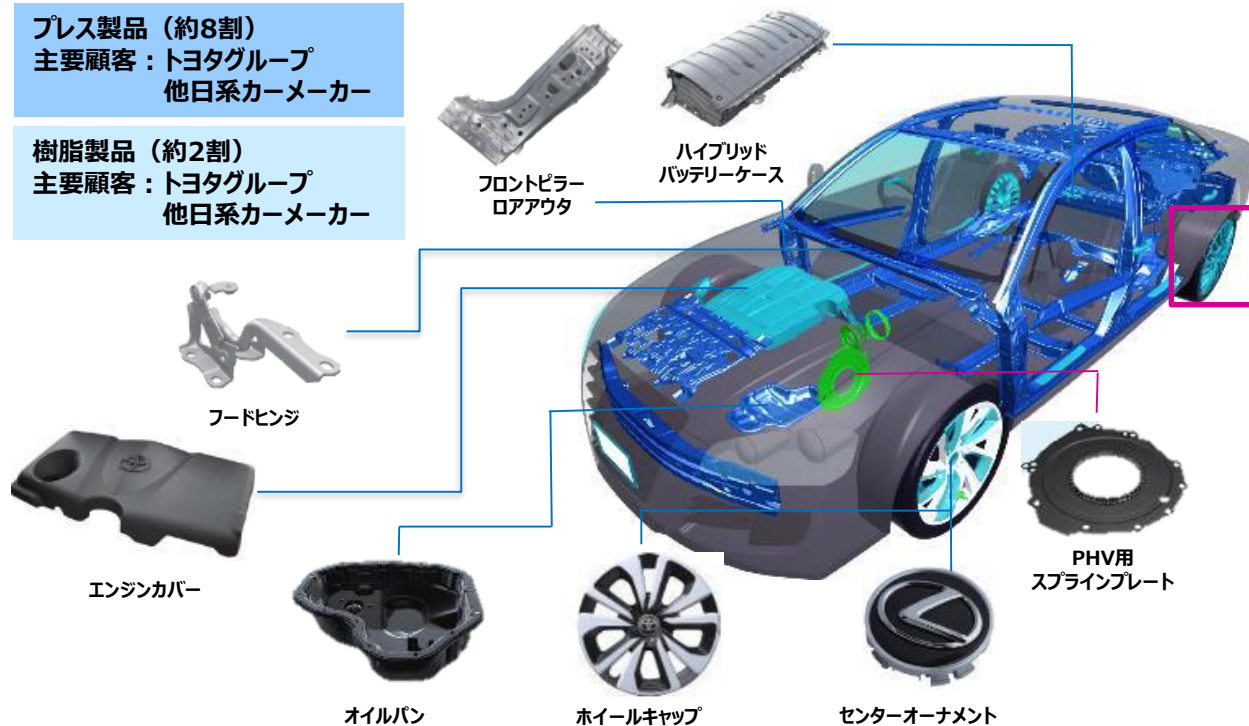
- ・超ハイテン材の成形技術をもつプレス製品
 - ・フィルム加飾技術やNV性能制御技術などの樹脂製品
- [米国・中国・台湾・タイ]

バルブ製品事業

複数の世界トップシェア製品をもつバルブ製品、
タイヤの空気圧を監視するシステムのTPMS製品などで構成されています。[米国・フランス・ベルギー・英国・中国・台湾・韓国・タイ]

プレス製品（約8割）
主要顧客：トヨタグループ
他日系カーメーカー

樹脂製品（約2割）
主要顧客：トヨタグループ
他日系カーメーカー



タイヤバルブ関連



タイヤバルブ
・シェア 国内100%
海外約50%
・主要顧客
国内外タイヤメーカー

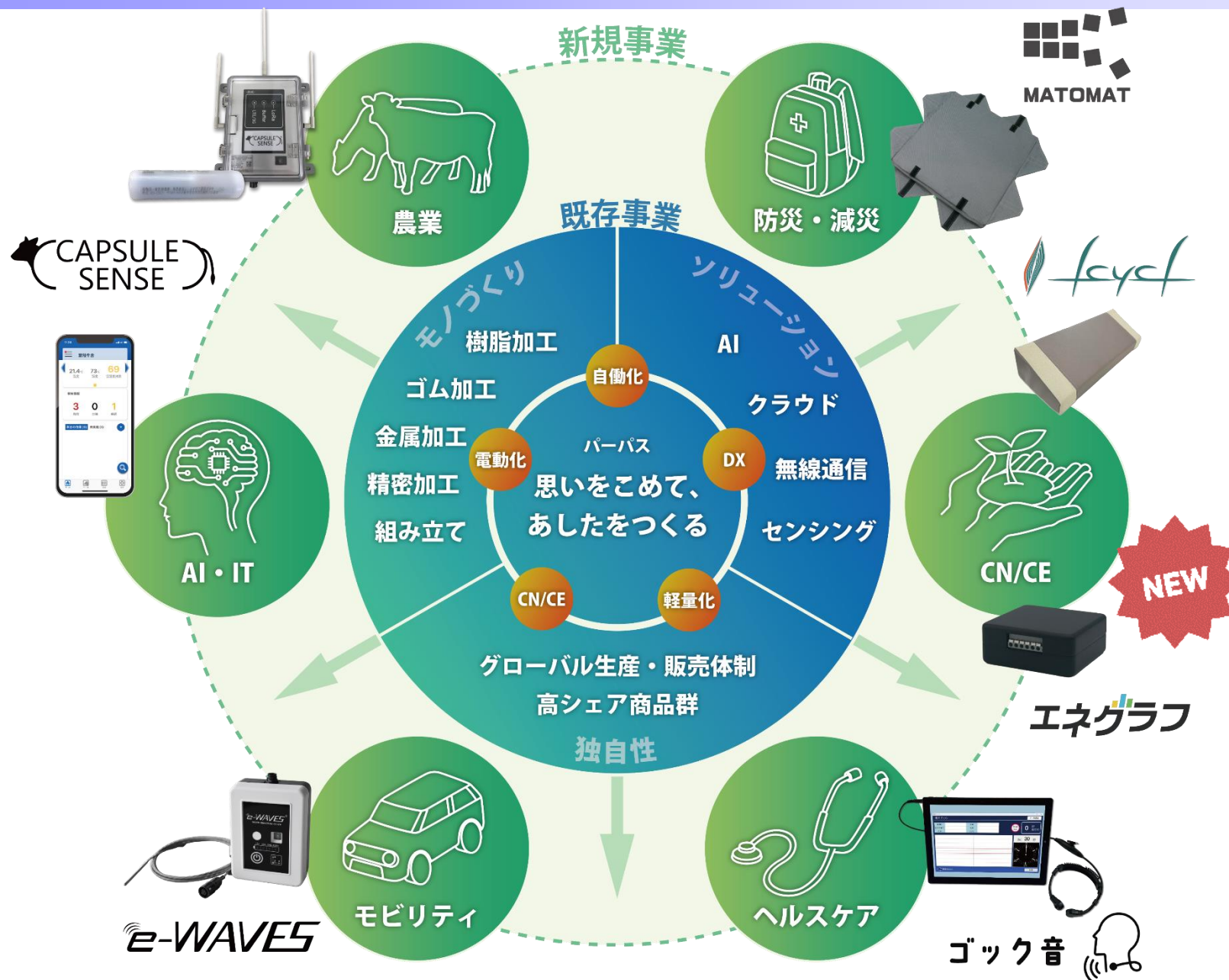
カーエアコン関連



制御機器バルブ
・世界シェア
チャージバルブ50%
リリーフバルブ80%
・主要顧客 カーエアコン用
コンプレッサーメーカー、
配管メーカー

新事業製品 (IoT製品、アップサイクル製品)





目次

1. 会社概要
 - 2. 経緯**
 3. エネグラフ 製品説明
 4. 導入事例
 5. 今後の展開
-

背景(きっかけ)

①「PACIFIC環境チャレンジ2050」

CO ₂ 排出量 2019年度比	
2030年度目標	50%削減
2050年度目標	ネットゼロ

長期的にCO₂削減活動が必要

②トップコメント

「工場の電気・ガス・水などの使用状況が見れるようにならないか？」



③会社としてDX推進

④新規事業として新商品・サービスの創出必要

¥

まずは、国内工場の各ライン・設備のエネルギー見える化を自社技術で検討スタート

2022年8月～ 開発開始。社内複数部署で導入チームを結成

2023年2月～ 実証試験開始&ブラッシュアップ、順次規模を拡大

¥

見える化が出来る⇒改善が進む。Good！ ⇒ 外販してはどうか

¥

2023年9月～ 社外販売準備開始

2024年5月～ 社外販売開始

・オール内製開発

・国内全工場の200箇所以上に設置

・全スタッフがPCにて全工場のエネルギー見える化

製造業では同様の
ニーズがあるはずだ！

目次

1. 会社概要
 2. 経緯
 - 3. エネグラフ 製品説明**
 4. 導入事例
 5. 今後の展開
-

ものづくりの現場で生まれた
エネルギー効率化をサポートするDXツール

エネグラフ

安価なエッジデバイスを既存のメータに取り付けるだけ

自社の現場ニーズを徹底的に収集



電気代を節約したい

工場、ライン、設備

異常を早期発見したい

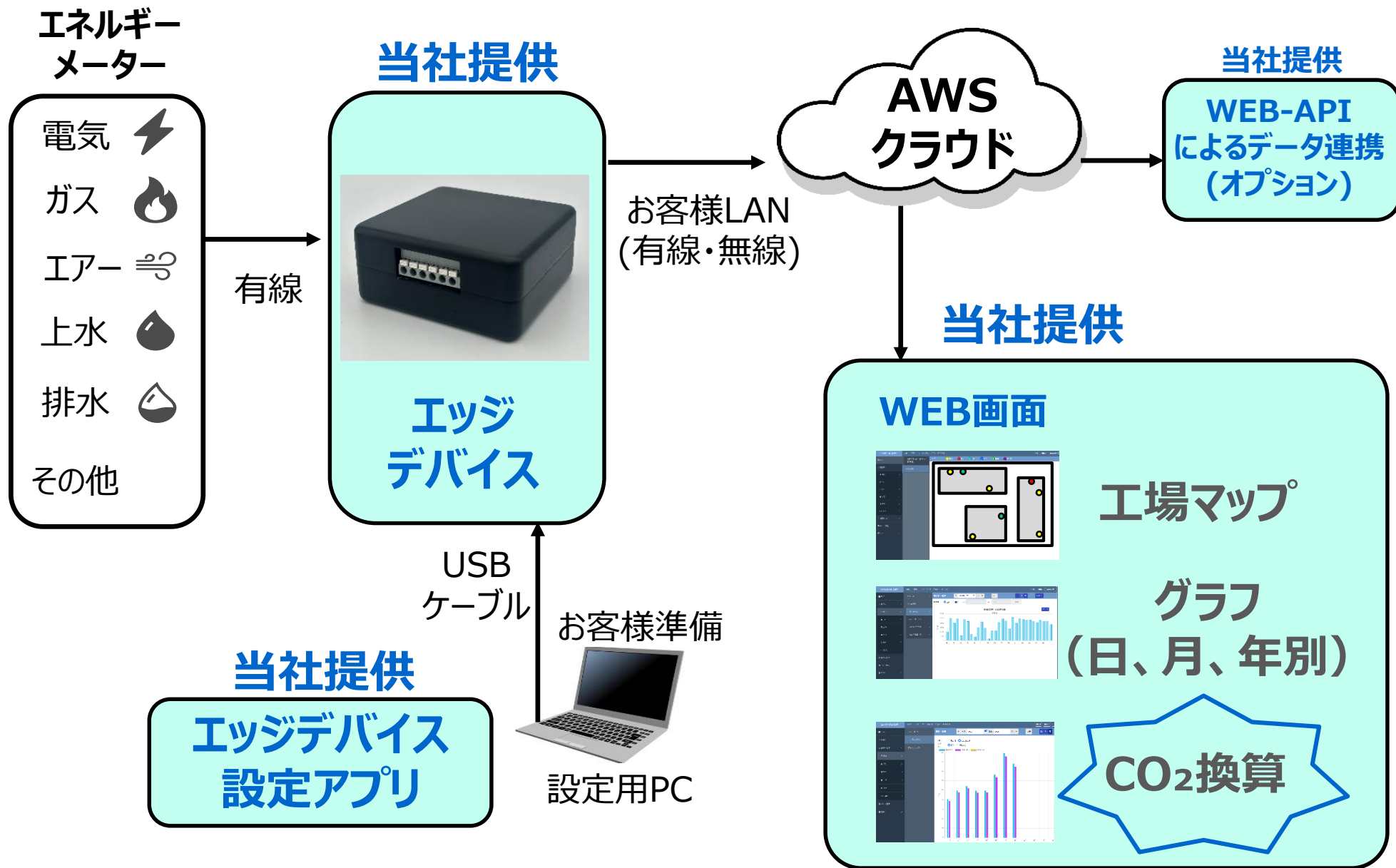
エネルギー使用量
全体を知りたい



電気、エアー、ガス、水など

CO2排出量を把握したい

エネグラフでDX化！



★エネルギー使用量を**安価に見える化！**

電気、ガス、水、エアーなど

★**エネルギー以外**の計測データも**取込み可能！**

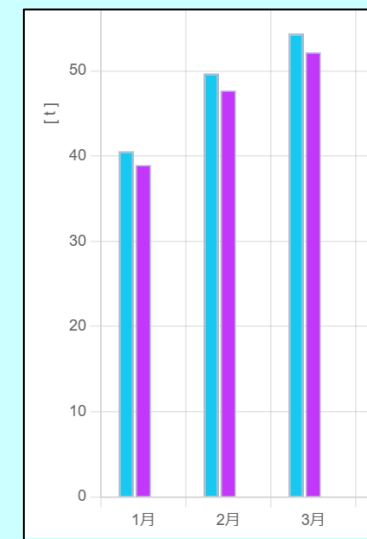
低価格
かんたん設置

安価なエッジデバイスを1個から
使用量を**見たいところに設置**するだけ



ギャップ分析
効果確認

使用量の**変化を見る化し、**
改善点抽出をサポート・
改善前後で**容易に効果確認**



CO₂換算

CO₂排出量も表示可能、
環境改善推進を後押し

◆エッジデバイス本体

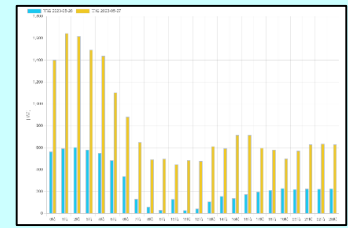
20,000円（税別）



◆クラウド月額利用料

500円（税別）

（エッジデバイス1台あたり）



費用削減

⚡ 休日待機
電力のムダに
気付く



設備の自動
休止機構
を導入

≡ エアー余剰
設備の発見



コンプレッサー
設備の統合

💧 水の使用量
の多さを実感



循環型の
設備導入

環境配慮

CO₂削減量
が見える



環境負荷
低減活動を促進

💧 排水成分
も見える



排水処理施設
見直しによる
法令順守

品質向上

⚡ エネルギーの
異常な使われ方
の通知



設備の故障や、
漏電、エアー漏れ
などを修理

社員マインド

社員の節電
意識が向上



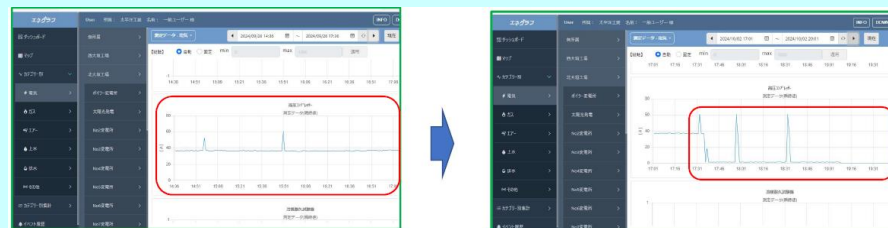
昼休みなど
時間ごとの節電

目次

1. 会社概要
 2. 経緯
 3. エネグラフ 製品説明
 - 4. 導入事例**
 5. 今後の展開
-

◆電力の費用削減 (コンプレッサー)

効率化の改善点を発見・効果を確認



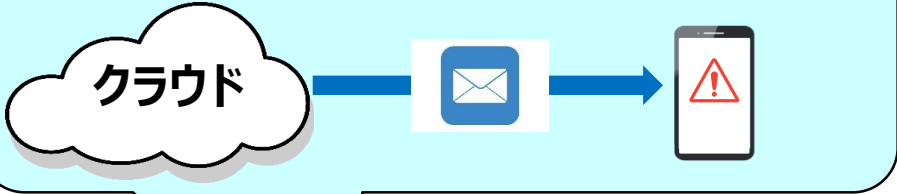
アイドリングの
時間帯を停止

	改善前	改善後	効果
電力	コンプレッサー 電力：3,029kwh/日	コンプレッサー自動発停装置の 導入(276千円) 電力：2,797kwh/日	費用削減： 813千円/年 省エネ効果：58,080kwh/年 ※非稼働日の改善分含む
	エアー流量の監視 →使用されていない時間帯あり	コンプレッサー起動時間：4:00 →5:30に変更	費用削減： 732千円/年 省エネ効果：33,564kwh/年

約10%減

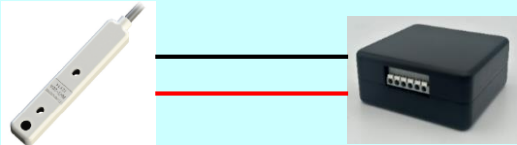
◆品質面の向上

エネグラフの異常お知らせ機能でメール通知



	困りごと	改善内容
品質	・設備異常を迅速に対処し、チョコ停やエア漏れを防ぎたい ・休日・夜勤の設備異常を知りたい	異常を検知し管理者にメール通知することで、迅速な復旧が可能で生産への影響を最小化
	・冬場の井戸水配管が凍結してしまう	温度・湿度を監視することで冷却水の凍結を未然防止

温湿度センサーとエネグラフを接続



温湿度センサー

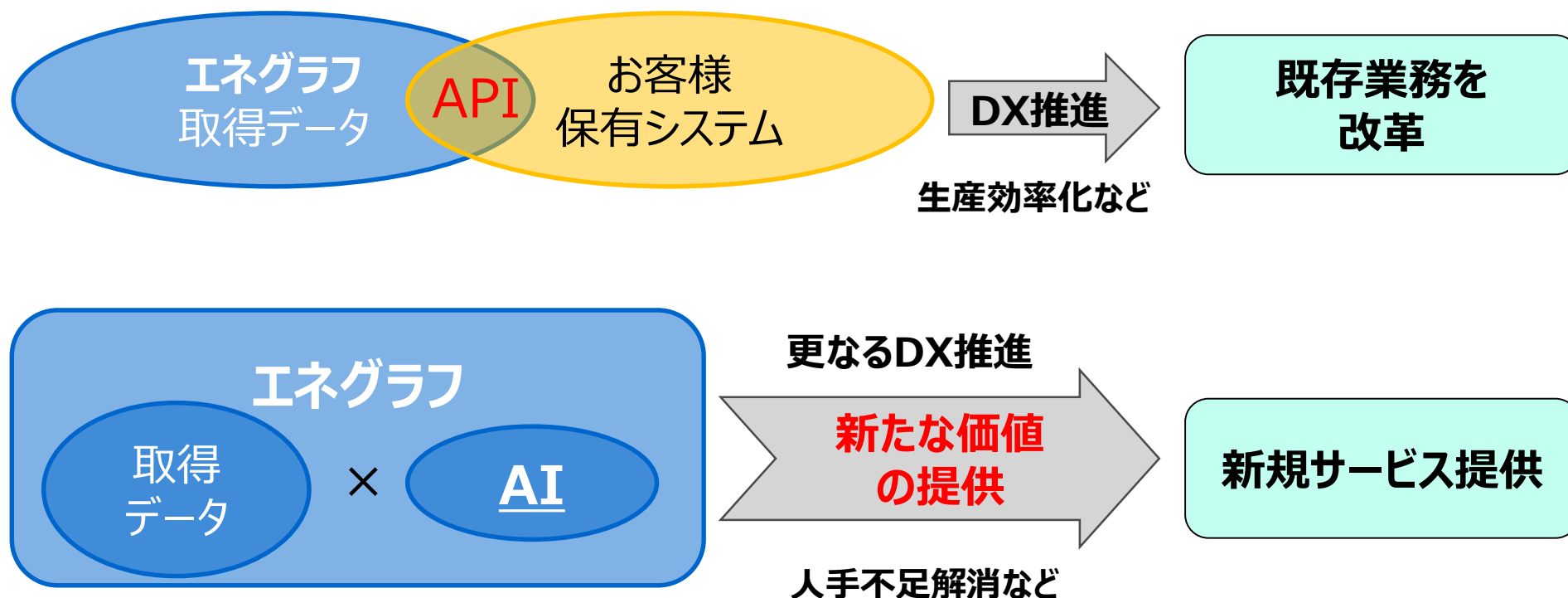
目次

1. 太平洋工業について
 2. 背景
 3. エネグラフ 製品説明
 4. 導入事例
 - 5. 今後の展開**
-

(1) エネグラフの有効利用により、改善促進

(2) 顧客ニーズ・困りごとを吸い上げ、更なる機能UPにより

多様なDX化をサポートし続ける！





思いをこめて、あしたをつくる

Passion in Creating Tomorrow

太平洋工業だから実現できるソリューションで、DX化の連鎖を起こす。

ご清聴ありがとうございました

お問い合わせ先

太平洋工業株式会社
新規事業推進部 営業企画G
☎ 0584-93-0172

安田 宗近 ✉ mnyasuda@pacific-ind.co.jp